

	課題分析	授業改善策
国語	単元の課題を把握して学習の見直しをもち、目的に合った手段をとりながら課題に取り組もうとしている。ただ、文章にまとめることに時間がかかったり、自分の考えを發表する生徒に偏りが見られたりしている。	各単元で「書くこと」に関する活動を意図的に盛り込み、自分の課題を知ることや克服に向けて自分の力でまとめて書く力を身に付けさせていく。また、特定の生徒に偏らず、安心して発言できるようなグループワークやプレゼンテーションの授業を盛り込んでいく。
社会	単語や端的な事象を組み合わせて解答を出すことに時間がかかる。また、グラフを読み取って事実のみを書くことが課題である。	世の中の事象を捉えさせながら、グラフや資料を活用して授業に取り組ませることで、資料への対応になれさせていく。
数学	授業や定期考査の結果から、知識・技能の観点の能力は、概ね定着している。既習事項を駆使して新たな問いに対して粘り強く考える力に課題がある。	授業内で問題解決までの思考過程を密に共有し、類似問題を解くことで知識・技能の定着を図ると同時に、帰納的に考える思考力を養っていく。
理科	自信の課題を把握し学習に取り組むことができるが、「思考・判断・表現」の観点での個人差が大きいと考えられる。特に学んだことをもとにして結果を考察することについて課題がある。	学んだことをアウトプットできるよう、ペア活動やグループ活動などで対話的な場面を組み込んでいく。思考や表現の力を伸ばすため、レポート作成を適宜行い、実験の目的をしっかりと把握させ、考察の糸口を生徒自身が見つけられるように取り組んでいく。
音楽	歌唱や鑑賞の授業に意欲的に取り組む生徒が多い。歌唱の技能も全体的に高いが、曲想や歌詞に描かれた情景を生かして歌唱表現を工夫することに課題がある。	身に付けたい力を育成するために、ポイントを厳選して指導を行う。また、個人活動だけでなく、ペア活動やグループ活動を行うことで、他の人の考えを取り入れたり、考えを深めたりできるようにしていく。
美術	活動は全般的に意欲をもって取り組んでいる。身についた知識や技能を、日常生活と関連させて捉え、利用することに課題がある。	生徒が学びを実感的に捉えられるように、自己表現の課題だけでなく、身の周りにあるデザインや制作物に対して造型的な視点を生かすことができるよう、題材に取り入れていく。
保健体育	体力は全体的に上がりつつある。さらなる技能の向上とともに、自他の課題発見能力の育成を図る必要がある。	ルーブリック表を用いた学習カードで自身の活動を振り返るとともに、自身の技能はどこで、どのように向上させていったのかということについて、目標と手段を考えさせていく。
技術・家庭	<p>実習や実験・製作に関しては、意欲的に取り組む生徒が多い。情報モラルや情報セキュリティについて言葉は知っているが、意識が十分ではない。(技術)</p> <p>学習内容に関心をもち、基礎的な知識や技能を習得しようとしているが、主体的に生活や社会の中から課題を見だし、調べ、考えを發表することが少ない。(家庭)</p>	<p>日常生活を振り返らせて、自分の行動・経験を思い浮かべさせる。課題が早く終わった生徒にスムーズに進められない生徒にアドバイスをさせるなど、グループ学習等を取り入れ、互いに教え合い学び合いを行うようにする。(技術)</p> <p>問題解決的な学習を組み入れる。個人やグループで課題を設定し、調べたり考えたり話し合ったりして解決策をまとめ、個人やグループで發表する。(家庭)</p>

<p>外国語</p>	<p>思考・判断・表現の観点に課題がある。学期末に行った授業アンケートの結果、「話すこと」「書くこと」に苦手意識をもつ生徒がいる。インプット（「聞く」「読む」）したことをアウトプット（「話す」「書く」）する練習を積ませたい。</p>	<p>語彙力をつけるための単語テストおよび Q&A のペアワークに帯活動で引き続き取り組ませることで基礎・基本を定着させる。2学期の最初の授業でタブレットを活用して Q&A の模範例動画を参照させ、自己のパフォーマンスを改善させる。グループで話す場面や、自分の考えを書く場面を定期的に取り入れていく。音読を奨励し、授業内および家庭学習における発話量を増やしていく。</p>
------------	--	--